

農政産業観光委員会会議録

日時 平成28年11月7日(月) 開会時間 午前11時41分
閉会時間 午前11時56分

場所 第3委員会室

委員出席者 委員長 大柴 邦彦
副委員長 上田 仁
委員 臼井 成夫 鈴木 幹夫 石井 脩徳 山田 一功
奥山 弘昌 宮本 秀憲 飯島 修 清水喜美男

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

農政部長 大熊 規義 農政部次長 岡 雄二
農政部技監 渡邊 祥司 農政総務課長 丹澤 尚人 耕地課長 福嶋 一郎

議題(付託案件)

第94号 平成28年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの、第2条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の補正中農政産業観光委員会関係のもの

審査の結果 付託案件については、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 午前11時41分から午前11時56分まで農政部関係の審査を行った。

主な質疑等 農政部

※第94号 平成28年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中農政産業観光委員会関係のもの、第2条繰越明許費の補正中農政産業観光委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の補正中農政産業観光委員会関係のもの

質疑

宮本委員 農政部では総額24億を計上しておりますが、国の経済対策を活用して農業基盤の整備を進めるということですが、どのような考え方でこの予算を組み立てたのかをお伺いしたいと思います。

福嶋耕地課長 今回の国の第2次補正予算のうち、農業関係の公共事業予算は、担い手への農地の集積、畑地、樹園地の産地強化、農村地域の防災・減災対策を柱に編成されました。このことは昨年策定した新・やまなし農業大綱に掲げた農政部公共事業関連の施策と合致していることから、県では積極的に予算の確保に努め、今回の補正予算としてお願いしているところでございます。具体的には、担い手への農地の集積を促進するための圃場整備、果樹産地等の生産性の向上を図るための農

道、畑地かんがい施設等の整備、自然防災・減災を着実に進めるための用排水路の整備などに取り組み、競争力を高めるための基盤整備と災害に強い農村づくりに向けた取り組みを進めていくという基本方針で組み立てております。

宮本委員 課別説明書の2ページにあります、県営土地改良事業費の畑地帯総合整備事業費、これが16億6,000万円余ということでかなりの額を占めています。これはどういった理由なのかお伺いします。

福嶋耕地課長 畑地帯総合整備事業費は、主に本県農業の基幹となる果樹産地の基盤整備を行うものでございます。県では、地域のニーズを踏まえ、あらゆる機会を通じて国に対して果樹産地の強化を図るための基盤整備予算を増額するように要請をしております。今回、国の補正予算では樹園地の産地強化にかかわる予算が大幅に増額計上されたことから、これを積極的に活用し、果樹産地の強化を図るための基盤整備を加速的に進めることといたした結果、このような金額となっております。

宮本委員 ということは、これまで本県が国に対して要望してきた結果、国の予算に強く反映され、それが今回計上されている、そういった認識でよろしいのでしょうか。

福嶋耕地課長 そのように御理解していただければ結構です。

宮本委員 最後に、これは国の経済対策の予算ですけれども、未来への投資と位置づけられているということで、本県の農業を維持・発展していくために、基盤となる農地や農道などに投資をしていくことは、非常にこの観点に合致していると思うのですが、今回の予算で事業を実施することで、どのような効果が結果として得られるのか、どういう未来になっていくのか、それを最後に伺いたいと思います。

大熊農政部長 本県の生産基盤はいまだに小区画で不整形な圃場が多く、産地の競争力の強化においては、こうした生産基盤の改善が極めて重要な課題であると認識しております。今回の補正予算で行います圃場や農道、用排水路の総合的な整備により、担い手のニーズに合った生産基盤に改善していくことは、農作業の効率を向上させ、その結果、営農経費の削減、農産物の品質、収量の向上、さらに最終的には農家所得の向上につながるものと考えているところでございます。本県の農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますので、県といたしましては、これらの効果ができるだけ早期に発現できますよう、可能な限り工事等の速やかな発注に努めてまいりたいと考えているところでございます。

飯島委員 今回、こういう予算がついたということで、臨時議会を開いて議決する方向なのですが、この議決をしたら、どの程度、年内に工事が発注できるんですか。

福嶋耕地課長 現在、発注に向けた積算等の準備を行っているところでございまして、今後、各地区に見合った発注ロット、規模等の検討を行いまして、可能な限り効率的に早期の執行を目指していくように考えております。

飯島委員 臨時なので、なかなかすぐに答えられないということもあるかもしれませんが、せっかく臨時議会を開いて、箇所表も出して、やるということですから、気がついたら繰越になっていたということでは、この議会の意味はないので、そこはち

やんとしっかり考えてやってもらいたいと思いますけど、もう一度答弁をいただきたいと思います。

福嶋耕地課長 そこは地元の方と十分に事前調整をしながら、しっかり執行体制を整えて、できる限り早期の執行に努めて、効果を発揮してまいりたいと考えております。

その他 ・ 委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

農政産業観光委員長 大柴 邦彦